

ふじよしだ 住攻 器

AA
Getting to Know Fujiyoshida

さあ、移住という旅にしよう。





ここは、山梨県富士吉田市。

雄大な富士山の麓に広がるまち。

自然も文化も産業も土地に根付き

多くの人が暮らすこのまちで

生まれ育った人もいれば

何かのきっかけでこの土地を選んで

新しい生活を始めた人もいます。

移住のきっかけは人それぞれ。

今、この攻略本を手にとった瞬間に、

もしかしたらあなたの移住という

冒険が始まっているかもしれません。

心地よい暮らしを求めて。

新しいことにチャレンジしたい。

会いたい人がいる。

なんだか楽しそう、などなど。

この攻略本を読み終えたとき、

あなたの中でそんな気持ちが

少しでも芽生えていたら、

この本を手にして、

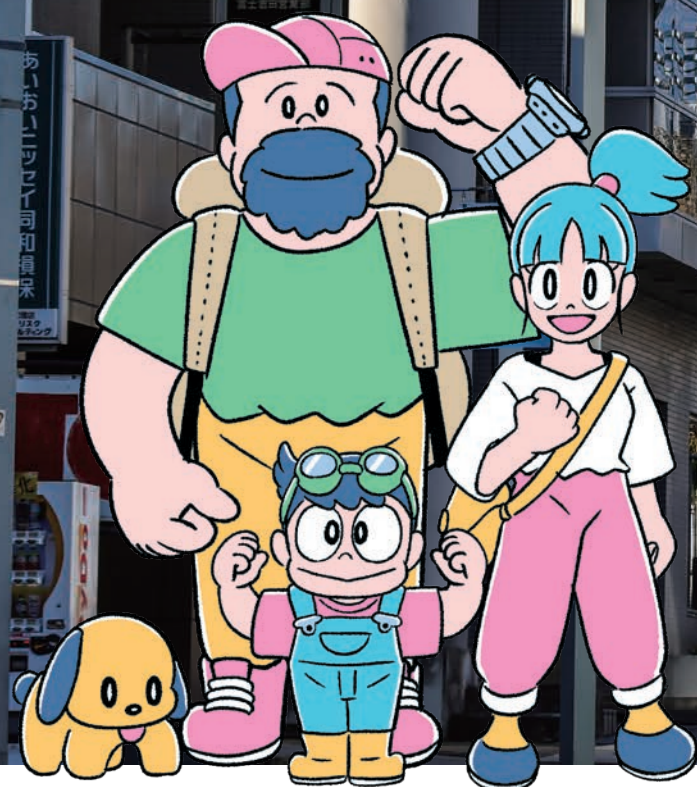
さまざまな探求をこなし

富士吉田に訪れていることでしょう。

富士吉田市への移住を考える

すべての人に贈る冒険の書。

それが『ふじよしだ移住攻略本』です。





GOAL

富士吉田に移住！



ごはん会に参加してみよう

よしだの暮らしの相談室では、移住後のコミュニティづくりをサポートするために、ごはん会などのイベントを開いているよ。積極的に参加して、まちに知り合いをつくらせていこう！

自分の推し吉田を探そう！

好きなところを見つければ、吉田の暮らしがもっと楽しくなるかも。先輩移住者やまちの人のお気に入りも参考にね。(P30)



STEP 05

移住の準備

住むイメージが固まったら、仕事や住まい、子育てのことなどを決めていこう。富士吉田には心強いサポーターがたくさんいるよ(P32)。エリアの特徴(P6～)や支援制度も調べてみよう。



移住に関する支援制度の一例

定住促進奨励金

- ・新婚世帯すまい支援：市内賃貸住宅に入居する40歳未満の新婚世帯に20万円
- ・物件取得支援：新築／中古物件を購入した転入世帯に最大110万円
- ・遠距離通勤・テレワーク支援：遠距離にある事業所に通勤またはテレワーク勤務する50歳未満の転入者に1万円／月(最大24か月)



詳細はコチラのサイトへ



STEP 04

富士吉田を体験する

観光ではなく、暮らす目線で地域を体感することが大切。まちを歩いてみたり、まちの人の話を聞いたりしてみよう！

毎月第3土曜日の「氷室どうよう市」に行ってみる！



FUJIHIMURO (P26) の中庭を利用した、地域の方々が出店するマルシェ。買い物はもちろん、会話を楽しんだり、ワークショップに参加したりできる交流の場！

暮らし体験施設 (P28) を利用してみる！



まずは住んでみて、このまちの暮らしを体験してみるのも大事。1週間～1か月滞在できる暮らし体験施設で富士吉田をもっと深く知ろう！



STEP 03

考えたことを相談する

富士吉田には移住の専門相談窓口があるので、なんでも聞いて、不安や疑問はひとつひとつ解消していこう！



①よしだの暮らしの相談室 (P26) に行く

相談員が「ふじよしだの暮らし」の情報を詳しくレクチャーしてくれるよ。まずはここに行ってみよう。

②オンラインで相談する

Web会議システムを活用したオンライン相談にも対応。直接足を運ぶことが難しい方はこちらを利用しよう。

③出張移住相談会に参加する

都内での移住相談会も年に数回開催しているよ。詳細はWebサイト「youFUJIYOSHIDA」をこまめにチェック！(P26)

装備や気持ちを整えて
移住の準備をしよう！

富士吉田への移住攻略STEP

「富士吉田で暮らしたいな…」と思ったら、この攻略本を参考に、ひとつひとつ移住のステップを攻略していこう！

STEP 02

移住の目的を考える

なぜ富士吉田に住みたいのか？ 誰と、いつまでに、どんな暮らしをしたいのか？ 家族とも相談しながら、具体的に考えてみよう！



単身で？
家族で？

ライフスタイルの変化？

しごとのため？
転職？



単身で？ 家族で？ 仕事は？ 4人の先輩移住者の話も参考にしてみよう！(P10～)



STEP 01

情報を集める・探す (まちを知る)

まずはこの移住攻略本をすみずみまで読んで富士吉田へのイメージをつかもう！ youFUJIYOSHIDAなどのWebサイトにも情報が満載(P26)。都内での移住イベントを活用するのもよし！



移住セミナーや相談会の開催を調べてみよう



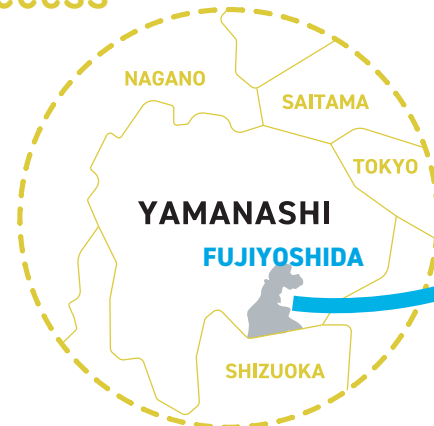


富士吉田市は日本一の標高と美しさを誇る富士山の北麓に位置する自然豊かな高原都市。古くは富士山信仰のまちとして、明治以降は日本を代表する織物の産地として発展してきました。政治・経済・文化の面で富士北麓の中核都市としての役割を果たしており、都心から車で90分とアクセスも良く、生活に必要なものは基本的に何でもそろっています。



富士山に続くように延びた富士吉田の中心部を通る、通称「富士みち」を中心に空き家の活用が進んできており、賑わいが生まれています。自然を間近に感じながら、利便性が高い暮らしを求めている方にピッタリの場所です。

Access



電車： 新宿～富士山駅(約1時間45分)
 高速バス： 新宿～富士山駅(約1時間50分)
 車： 初台～富士山駅(約90分)

FUJIYOSHIDA AREA MAP

移住攻略に欠かせないのが、エリアマップを把握すること。地形や風土、文化や産業まで、掘れば掘るほど深みが増す富士吉田の地域を紹介します。

富士吉田を知る鍵が、このエリアマップにある！

富士吉田の基本情報

人口 **46,354人** (令和7年1月1日現在) 面積 **121.74km²**

保育機関：保育所等…13、幼稚園等…2、認定こども園…5

学校：小学校…7、中学校…5、高等学校…4、

大学…1、専門学校…1

気温：平均／12.7℃ 最高／35.2℃ 最低／-9.1℃
 (気象庁 2024年)



ふじよしだ移住攻略 POINT

富士吉田の地図は富士山が上！この地域では、富士山を目印に方向を考えます。そのため一般の地図と違い、南北が逆のものが多いので慣れていきましょう。

明見エリア

自然豊かでゆったりとした暮らしができる



杓子山

山梨百名山である杓子山をはじめとした山々に囲まれ、豊かな自然の中で生活ができるエリア。明見湖（通称：はす池）では、四季折々の花や多様な生き物を見ることができ、自然とのふれあいが楽しめます。車が必須ですが、富士吉田西桂スマートICもすぐそばなので、都心に出やすくなりました！工業団地もあり、近年働き口も増えている場所。

ASUMI



明見湖



明見湖フェスティバル



背戸山展望台



AREA MAP

富士山に最も近いエリアで、自然豊かで多くの公園があり、富士山信仰の歴史的なまちなみも残っています。交通の拠点となる富士急行線の富士山駅があり、駅ビルにはさまざまなお店や施設が入っています。ここからバスも多方面に出ています。

バイパス沿いには大型の小売店や飲食店がずらりと並び、市立病院や学校等の施設も多く、利便性も◎！



本町通り

KAMIYOSHIDA

富士山が近い！自然と便利さが共存する



北口本宮富士浅間神社



富士バインズパーク



富士山駅



AREA MAP

暮地エリア

車で東京に通勤などを考えるなら



白糸の滝

山に囲まれ川が多く、豊かな水と緑に恵まれている地域。「白糸の滝」などの美しい自然スポットが多くあります。距離的に一番東京に近く、富士急行線の寿駅や富士吉田西桂スマートICがあるため、都心に出るのに便利です！市の中では標高が低い場所で、上吉田に比べると気温が温暖。少しでも寒さから逃れたい人はこのエリアを選ぶと良いかも。

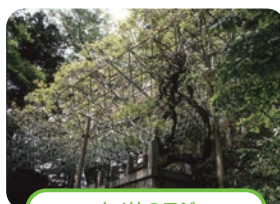
KURECHI



寿駅



数見周辺の風景



山ノ神のフジ



AREA MAP

官公庁や学校、店舗などが集積している、富士北麓地域の中心地。3本の幹線道路が通り、市内の移動はもちろん、甲府方面にも行きやすい場所です。富士急行線の駅が3つあり（月江寺、下吉田、葎池温泉前）、電車による移動も可！本町通り周辺の商店街には個人商店や飲食店が多く、昭和の面影が残るレトロなまちなみを散策するのも楽しいですよ。



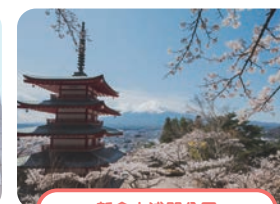
本町通り

SHIMOYOSHIDA

富士北麓の中心地！便利さを求めるなら



富士吉田市役所



新倉山浅間公園



西裏



AREA MAP

FUJIYOSHIDA 移住攻略 INTERVIEW

大学卒業後の2021年3月に名古屋
市から富士吉田に移住した北山さん。大
学在学中に訪れていた富士吉田。そこで
の滞在と出会いが北山さんの移住を決意
させることになりました。

北山詩織さん
HERBSTAND勤務

Episode 01



暮らしの中に 自然の豊かさがある

北山さんが富士吉田との縁ができたのは、大学4年の春。富士吉田の土地で育てたハーブや市内の森に自生する草木を使ってハーブティーを生産・販売する『HERBSTAND』の1週間お手伝い募集』を知り、応募したことがきっかけ。富士吉田というまちの名前もその時に知りました。

「大学では情報系を勉強していたのですが、就職を考えた時、自分の時間を使って働くなら自分にとっても良い影響があることをしたいと思うようになり、農業に興味を湧きました。HERBSTANDはSNSで知り、一般的に流通しているものを大規模につくるのではなく、まだ活用されていない植物を見出していたり、その探求している姿勢に惹かれました。はじめて富士吉田の森に連れていってもらった時、その道中の眺めや森の中に立った時に見た光景がまるで絵画のようで…。今までに感じたことのない高揚感でした。こんな森や自然があるまちで働きたいとその時強く思いました」

大学での就職活動よりもHERBSTANDで働きたいと強く思った北山さんは、オーナーの平野さんご夫婦に相談することに。スタッフの募集はしていなかったものの、ちょうどHERBSTANDは成長の

真つ只中。北山さんの熱意が平野さんたちにも伝わり、「一緒に働こう」と北山さんの人生を動かす言葉をもたらすことができました。秋にはインターンとして働き、大学卒業後に富士吉田に移住して晴れてHERBSTANDのスタッフの一員になりました。

「平野さんご夫婦も富士吉田に移住してきた先輩だったので、寒さ対策や引越越しで困りそうなことはだいたいわせてもらい、とても助かりました。市で運営している移住を検討している人が泊まれるZUCCOや、移住相談ができる『よしだの暮らしの相談室』のことも教えてもらいました。このまちの人と話していると、移住者に対してとてもウェルカムなんです。知り合いではないのに、普通に挨拶してくれたり話しかけてくれる方が多くて驚きました。引越越してから家族も遊びに来てくれて、とくに母は自然豊かな富士吉田のことをすぐに気に入ってくれました」

北山さんに取材で会いに行ったのは、9月中旬頃。下吉田の街中にあるハーブガーデンでは、日光をたくさん浴びた植物たちがまだまだ元気な育っていました。全国的にも蒸し暑い日が続いていましたが、標高の高い富士吉田には爽やかな風が吹いていました。

「私はこの畑を担当しています。春に種まきや植え付けをして、収穫のメインは夏。朝から収穫してパッキ



HERBSTANDの畑には様々なハーブが植えられ、その数は60種類以上。化成肥料や動物性堆肥、農薬は一切使用せず、畑の雑草を発酵させた緑肥や山の腐葉土など植物由来の堆肥を使いハーブを栽培しています。



ングしてという作業が日々あります。秋が近づいてくると、畑では植物を刈り取ったり切り戻したりしつつ、イベントも多い季節でいくつものイベントにも出店します。仕事の1年中外にすることが多いですね。畑や森で、わりと一人で作業することも多いのですが、空も広く見えて自然の中で誰もいなくて……これが仕事なんだな、こんなに仕事が好きでいいのかなって最初の頃はよく思っていました。畑にいて毎日散歩しているおじさんがいて『今日も頑張っているね』と声をかけてくれます。名古屋にいた頃は、知らない人に挨拶されることはなかったのですが、最近では私も慣れたきたのか、知らない人に声をかける癖がついてしまいました(笑)」

北山さんは、自分の働き出した頃のことを思い出して顔をほころばせます。HERBSTANDでは、今まで見向きもしていなかった植物の使い道を生み出し提案すること、新しい価値を見出しています。そのため、シェフやパティシエ、バーテンダー、茶師、蒸留家などさまざまな道のプロの方々と接する機会があります。そういった人とのコミュニケーションもこの仕事ならではの発見があり、目利きの人たちが、富士吉田の魅力を外からの目線でも教えてくれるそう。



ハーブを収穫してすぐにパッキングして、HERBSTANDのハーブを使っているシェフやお店に送ります。乾燥させた植物を保管し、それをブレンドした上で出荷することもあるそう。まだまだ知られていない植物の可能性を富士吉田から発信しています。イベント時には北山さんも販売でブースに立ち、お客さんと直接会話して、植物やまちのことを話しています。

沿いの溝にはタバコの吸い殻やゴミが捨てられていました。「こんなに素晴らしい森の中にゴミを捨てる人がいるなんて……」と思いながら出来る範囲で拾っていました。それが、その森に恩返しをするアクションもしていきたいと思っていた時だったので、友人や職場の同僚を誘って『マウンテンクリーン』という山の清掃を始めました。

『マウンテンクリーン』はいわゆる清掃活動ですが、カジュアルに楽しく取り組めるイベントとして始めました。富士吉田の知人たちが、なかなか森に行く機会がないというのを聞いていたので、みんなが森で気持ちよく過ごすきっかけをつくりたかったのも大きいです。ゴミ拾いをしながら、参加者同士の交流も深まります。スティックにゴミを捨てるのではなく、はじめましての人と仲良くなったり、植物探検をしたり。参加者は移住者も多いので、自分たちの暮らしのことを話しながらいつの間にか友達になっていることも多いです。自然が好きという共通のテーマをもとに仲間が増えるのは嬉しいですね」

北山さんの活動は少しずつ広まり、SNSでマウンテンクリーンの募集をすると地元メンバーに加え、埼玉や神奈川県など県外からの参加も増えてきました。仕事も暮らしも楽しむその活動が身を結び、富士北麓の森を中心に2ヶ月に1度行うまでになりました。富士吉田で山登りもしたい、ポートにも乗りたい、とにかく自然を楽しみたいと思っ

ていたら、周りの人に誘われてどんどんその希望も叶っていききました。『富士吉田には面白い大人がたくさんいて仲良くさせてもらっています。みなさん生活と仕事がグラデーションのようで、どこからがオンとオフなのかわからない。名古屋にいた時はそういうライフスタイルがあるなんて知りませんでした。富士吉田に単身で移住してから、地元の人と仲間で結婚して、彼も富士吉田に引っ越してきてくれて、毎日楽しく暮らしています』

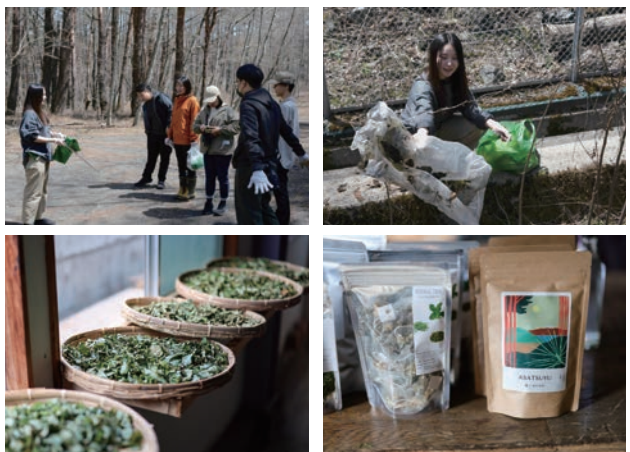
結婚してパートナーが越してくるタイミングで、市の移住促進施策である、新婚世帯すまい支援奨励金と、テレワーク支援奨励金を使うことができました。

人によっては人生を左右する出来事と捉えてしまうことも、北山さんは軽やかにその生活を楽しんで

ています。

「移住は永住ではないので、お試しでも住んでみて、ダメなら他を探そうと帰るとかの気持ちでも良いと思います。私は富士吉田を気に入って、仕事にも人にも恵まれているから住みたいと思っていますが、合わなかったら出るということもできるのが移住ではないでしょうか。私は平野夫婦がいたけど、知り合いがいなくても移住者のごはん会があったり、積極的にコミュニケーションを取れば孤立せず楽しく過ごせる風土が富士吉田にはあります」

移住してからの日々が楽しすぎて、他のまちにも移住したら自分の故郷が増えてそれも楽しそうと朗らかに笑う北山さん。最初の一步を踏みだして、自分の暮らしを自分で切り開いて行くしなやかさを教えてくれました。



Profile - 北山詩織さん -

1998年、愛知県生まれ。新卒で富士吉田に移住しHERBSTANDに就職。植物たちのサイクルに合わせて、山に畑に原野に走り回る日々を送っている。



HERBSTAND
Instagram



マウンテンクリーン
Instagram

場所

HERBSTAND 平野夫妻



富士北麓の森

初めて連れて行ってもらった時に、どこまでも平らに続く広大な森に、絵画に吸い込まれたような感覚がありました。今でも森に入ると、名前を捨ててヒトに戻ったような、自分をリセットしてくれる場所です。



富士吉田に初めて訪れたのも、移住した理由もお二人との出会いがきっかけ。自然の中にたのしみを見つけ、大好きなたちと囲む食卓の豊かさを教えていただきました。

一度富士吉田に住んだ後、仕事の関係で市外に出ましたが、再度このまちで暮らしと仕事をはじめた千代さん。いろいろな場所に住んだからこそ見えてきた、富士吉田に住みたい理由を聞いてみました。

FUJIYOSHIDA 移住攻略 INTERVIEW



登頂でも眺めるでもない 365日楽しめる富士山

富士山と山麓をフィールドに、アクティビティの提供や観光アドバイザリー事業を行うthousanth代表の千代慧さんは、前職で勤めていた大手リゾートホテルでの転勤をきっかけに富士吉田を気に入り、移住しました。以前は富士吉田の名前すら知らず、周辺だと山中湖と河口湖しか認知していなかったと当時を振り返ります。

「すごく失礼なことを言うけど富士吉田市自体を知らなくて、勤務地が近いからここで住むところを探そうという感じでした。出身は神奈川県なので富士山は自宅からも見えていたので、富士山が見える場所に住みたいというわけでもなく、旅行に行くとしても箱根の方に行くことが多く、富士吉田に来る縁がなかったんです」

時は2015年。古民家を改装した(SARUYA HOSTEL)がオープンし、西真地区活性化プロジェクトが発足、現地在元客と観光客で賑わう(新世界乾杯通り)が産声を上げようとしていた頃と重なっていました。

「まちの人と話すときみんな優しくフレンドリー。移住者に対してオープンマインドで、すごく入りやすいまちだね、なんて話を妻としてもい

いました。本当にいい人しかなくて、これから変わっていくまちであることを感じていました」

その後、仕事の関係で富士吉田を離れ、軽井沢、那須、八ヶ岳へと勤務地を変えますが、八ヶ岳のホテルで勤務していた頃にコロナ禍に突入。今後のキャリアアップに悩みながら、独立を決めます。

「これまでやってきたサービスと宿泊に加え、ホテルの入社前はレストランでもサービススタッフとして経験を積みました。ホテルでは支配人までさせてもらったので、これらを活かしたいと考えて。そこで場所をどうしようかと思ったときに、いろいろな地へ行ったけれど富士吉田が一番よかったよね、と妻と意見が合いました。妻のプライベートの時間が最も充実していたのがここでしたし、長男が生まれた場所でもあったのでふるさとにしてあげたい思いもありましたね。また、観光面で興味を持っていた文化の部分に関して、掘り下げの面白さや面白さを感じました」

千代さんは2021年に富士山麓の魅力に触れられるガイドツアーを提供する(thousanth)を立ち上げ、翌年、富士吉田へ再び戻ってくることに。2015年に引越して来た際にお世話になった不動産屋さんと関係が続いていたため、真っ先に相談して家を見つけました。また、事業を始めるにあたり、前

職で知り合った方々にも様々な人をつないでもらったと言、「人が恵んでくれたものがここにはたくさんある」と感謝を述べます。

千代さんが仕事にしたアクティビティビジネスの拡大に狙いを定めた背景には、自身が観光業に長く携わった経験からみえてきた課題がありました。

「チェックインからチェックアウトまでの滞在時間の中で、食事以外の部分が埋まらないとお客さまの満足度は上がらないと感じていました。その部分としてアクティビティを充実させたかったのですが、ホテル側からだと提供の難しさがあって。だからこそ自分で埋めたいという考えでした。飲食から宿泊へ広げ、さらに観光業へ広げるイメージを持ちながら、宿泊を含めた観光業をどこでやるべきかと考えた上でも富士吉田が最適だと思いました。自然だけではなく、文化が根付いているところに相性のよさを感じたんです」

また、富士山と山麓の観光が夏にしか集中していない点にも伸びしろを感じたと言います。

「登頂だけでなく、眺めるだけでもない、365日楽しめる富士山をテーマとして設けました。通年来てもらうことで観光業がさらに発達すると思いましたが、富士山の頂上を目指す以外に、麓からも楽しめる。まち歩きでも富士登山気分を味

わえます。自らガイドとしてアテンドする他、メディアの方と協力して発信することや、近隣の宿泊施設などと連携しながら、サービスでサポートしたいという気持ちが強いです」

現在、タクシー会社と連携して移動まで含めた1日の過ごし方をトータルで提案する「ガイドハイヤー」や、富士山5合目に位置する創業100年以上の佐藤小屋と企画した「冬の山小屋ステイツアー」、信仰登山にまつわる史跡を巡る「富士講追体験ツアー」、麓から5合目までを歩く「富士山麓トレッキング」、自身がソムリエであることを活かした「ワインアクティビティ」

など、多数のツアーを実施しています。中でも特に力を入れているのが、ふじよしだ観光振興サービスと取り組むまち歩きツアー「ふじみちさんぽ」です。

「まち歩きを再編集し、新しいガイドを育成するプログラムをつくりました。ガイドは僕だけではなく、富士吉田に関わりのある人にとっていたでいます。出身の方であれば、移住者もいますし、出身だけでなくは隣町に住んでいる人もいて1時間のガイドなので負担なく単発で入ることができます。複数の人がガイドをすると、目線が違ったりも面白い。設計図をつくり、半分は話す内容は決まっていますが、もう





吉田口登山道の拠点となる馬返しは、標高 1450 メートルに位置。象徴的な石造りの鳥居があり、手前の両脇には合掌する猿の像が出迎えます。「SNS やインターネットで検索しても出てこない話を伝えるようにしています」と千代さん。参加者一同で登山祈願をしてから、歩みを進めます。



半分は個人の裁量で好きな話をしてください、とガイドの方には伝えています」
それぞれのお気に入りの場所やエピソードを紹介することで、さまざまな視点が交錯します。今後も富士みちにはこだわりたいと、千代さんは言います。
「富士みちをどこまで伸ばせるのか、チャレンジしたいです。西桂や大月などいろんな『ふじみちさんぽ』があると面白いと思いますし、ストーリーができますよね。僕はこのまちに住んでいるだけでも毎日楽しいと思っています、目の前に富士

山が見えると高揚感もありますし、至るところに富士山にまつわる石碑がポロツと置いてあったり。観光客からすると、この地で暮らす人の生活そのものがスペシャルなものに見えると思います。こちらはケの日だけ、向こうからするとハレの日であるように。そういった解釈を整備して見せることで、富士吉田の魅力をもっと届けれられると思います。富士山の文化自体はど真ん中のネタではないので、届きづらさを感じていますが、目の前のお客さまから直接声を聞ける瞬間というのが醍醐味で、楽しいです」

事業を続ける中で、富士山と山麓を拠点とするガイド同士のつながりも大切にしています。
「それぞれが一人棟梁のような感じで、3日で家を建てないといけないからあと3人ほしい、と棟梁が集まるようにヘルプし合って、駆けつけるネットワークがあります。でも、雇うほど仕事があるわけではない。僕はビジネス化することで通年ガイドの仕事があるようにすることを目指しています」
最後に、千代さんにとって富士山とはどんなものなのか、聞きました。日本人のDNAに刻まれているん

だろうなという気がしてなりません。日本一標高が高い山というよりは、日本一想われている山だと思っています。日本を知る玄関口になるので、富士山を知ることによって日本について再認識しませんか、と提案していきたくです。古来から持っていた感覚をもう一度取り戻して、普遍的なものが何かを知るべきだとも思います。ここでは、変わらない自然と人の営みがあり、独特な美と文化が形成されているんですよ。海外の人には、富士山を通じて日本ならではの奥ゆかしさを認識してもらえ場所になったらと思っています」

Profile — 千代 慧さん —

1984年、神奈川県生まれ。2011年に日本ソムリエ協会の認定ソムリエを取得。ホテルでの支配人経験や、アクティビティプログラムの開発などを経て、2021年に独立し、thousandthを立ち上げる。



thousandth
Web サイト



thousandth
Instagram

場所

中曽根の交差点

ここから見える富士山が圧倒的すぎて、そのダイナミックさにやられました。思わず手を合わせたのを覚えてます。実家からも富士山は見えてたけど、存在感が違ったし、日常でこれが見えるのが素敵だなぁと思いました。



場所



北口本宮富士浅間神社の登山門

吉田口登山道のスタート地点。富士山は5合目から登るものと先入観を持っていたので「そうだな。昔の人はここから登ってきたんだな」とあたりまえに気づいた瞬間です。それまで全然知らなかった富士山の文化、歴史、そして人の営みにハマったきっかけです。





冬は水の チョロ出しが マスト

標高750m前後に市街地を形成する富士吉田。このまちの冬の寒さを侮ってはいけない！夜間の水道凍結を防ぐために、冬は寝る前に水道の水をチョロ出しするのが常識。市が親切に防災放送で注意喚起してくれるぞ！

一般の地図とは逆に、富士吉田の地図は南が上のものが多く、南に位置する富士山を中心に「上る」「下る」で方向を表現します。この方向感覚に慣れたら、君もすっかり富士吉田民。



富士吉田の地図は上下逆!?

香典袋に入れず お札をハダカでわたす

この地域では葬儀に参列する際に、お香典を香典袋には入れずそのままハダカで渡します。喪主を複数立てることからこの形式になったそう。他地域の方が参列する際には驚かれますが、これぞ地域の風習である。



フジファブリックメンバーの故・志村正彦さんは富士吉田出身。志村さんの誕生日と命日に合わせて、防災チャイムが志村さんの曲に変更となります。毎シーズン、この時期になるとそのメロディが聴く人の心をギュッとしめつけるのです。

方々のチャイムが
なんだか胸に響く

コンビニより
多い、吉田の
うどん屋

富士吉田のソウルフードとして愛される「吉田のうどん」。食べるのに顎が疲れるほど硬い麺に、茹でたキャベツと馬肉のトッピングが特徴。お店ごとに麺・汁・トッピング・辛味（すりだね）などの特徴が違うので、自分のお気に入り店を見つける楽しみも無限！



移住攻略 QUEST

みんなに
吉田
富士
ある
ある

摩訶不思議ワールド富士吉田にうなたくさんの“あるある”が存攻略すると、そこからまちの表情

は、知ったら人に言いたくなるよ在します。地域の“あるある”が見えてくるかもしれません。



富士吉田には「ワタナベ」という姓が非常に多く、なんと6人に1人はワタナベさん。そんなこともあって、富士吉田では下の名前で呼び合うことが多いです。「ワタナベさん！」と声をかけても、自分が呼ばれているとは思わないため振り向いてくれませんヨ。

6人に1人はワタナベさん。
下の名前で呼ぶ文化。



おれっち、
おめっち。

富士吉田に伝わる「郡内方言」。やや荒っぽいけど、かわいい響きもあるんです。気心知れた地元民が集まれば、この方言が飛び交います。おれっちの方言、おめっちも使ってみー！（訳：おれたちの方言、君たちもつかってみてよ!）



3776.223 ナンバー多め

この地域の自動車のナンバープレートに表示される地名は「富士山」。それにあやかりタクシーやバスはまだしも、マイカーにだって、「3776（富士山の標高）」「223（ふじさん）」をつけちゃいます。みんな富士山大好きずら？

地元独自の富士山 “初雪化粧”宣言

四季で表情が変わる富士山ですが、富士山の積雪は冬支度を始める合図！甲府地方気象台が発表している“初冠雪”とは別に、市独自で「富士山初雪化粧宣言」があります。冬が長い富士吉田ではホットなニュースとして扱われます。



FUJIYOSHIDA 移住攻略 INTERVIEW



実家の「梶原豆富店」を改装し、
念願のカフェを開業した梶原さん。
高校で上京してから時間も
距離も離れていた富士吉田のま
ちは、今どのように見えているの
かを聞いてみました。



Profile — 梶原正裕さん

1980年、山梨県富士吉田市生まれ。約20年間、東京と大阪の和菓子店やカフェで働いた後に、実家の富士吉田の豆腐屋さん跡地に2022年1月に「FUUTO COFFEE AND BAKE SHOP」を開業。

「ふう」とひと息つける まちのオアシス

西裏地区にある古きよきまちの面影を色濃く残している月江寺大門商店街。老舗の喫茶店や本屋が今も変わらず営業するこの通りに、70年続いた実家の豆腐屋を改装してカフェを開いたのがFUUTO COFFEE AND BAKE SHOP。店主の梶原さん。梶原さんは、高校卒業後にパティシエを目指し進学しましたが、2年目にはあえて和菓子づくりを勉強し、卒業後は都内や大阪の和菓子屋で腕を磨きました。その後は都内のカフェに転職するのですが、その理由は、東京で運命的に出会ったカフェの存在がありました。

「東京で和菓子の修行時代、先輩に連れて行ってもらった渋谷のカフェで、そのお店の空間やお客さんなどすべてに刺激を受け、いつかは自分もこういうお店を開きたいとその時に思い始めました。和菓子の道も10年は頑張ろうと決めていたのでもっと働き、30歳手前で都内のカフェで働き出したんです」

そのカフェでは、コーヒーの知識や淹れ方はもちろん、カフェという存在のあり方、お客さんとのコミュニケーションなど総合的に学ぶことができたそう。いつか、自分のカフェを開くことを見据えて働いていく最中に新型コロナウイルスが流行しはじめ、この頃から東京を出ることを考えはじめました。

「東京での独立開業も考えていたのですが、コロナウィルスの広がりで、東京を出ることを考えて、まずは妻の実家である静岡市で物件を探し始めたんです。なかなかピンとくる場所がないまま半年が過ぎて、時々ばくの実家にも帰っていたんです。その時に、このまちから見える富士山はやっぱり特別だなと思ったり、前職のオーナーが棒^{トウ}斗胆さんが好きで富士吉田によく来ていたので相談してみると『ポテンシャルが高いまち』と言ってくれたこともあって、富士吉田でやってみたい気持ちが大きくなっていき、ました。実家の豆腐屋も空いてはいました。他の場所もいろいろ探してみましたが、最終的には父が『うちを使えばいいじゃないか』と言ってくれ、この場所でお店を開く決意をしました」

地元での開業に、同級生には『人でもないし絶対にやめたほうがいい』と言われることもあったそうですが、それならば『人を呼べるカフェにすればいい』と梶原さんは奮い立ちます。お店の設計は、前職の会社に依頼。カフェを運営しつつ、店舗の設計やインテリアデザインがメインだったこともあり、細かいところまで相談することができ、敢えて都会的なデザインで空間をつくり上げました。お店の準備で苦労したことを聞くと、メニューづくりにいちば

ん頭を悩ませたそう。

「カフェのメニューをどうやってわかりやすくこのまちのお客さんに伝えるか、知ってもらうかが大事だと思っていました。コーヒーはもちろん美味しいことは大前提ですが、敷居が高いものにはしたくなくて、コーヒーがあることで会話につながったり、お店に来るきっかけになれたら良いなど。お店で最初から出したいと思っていたとらやきも、コーヒーとの組み合わせや、素材や焼き方も含め試行錯誤を繰り返しました」

和菓子職人としての経歴も長い梶原さんがつくるとらやきは、口どけのよいしっとりとした生地を毎朝店内の鉄板で焼いて、自家製のあんこを包みます。素材の味が際立ち、ふわふわしっとりとしたとらやきは、コーヒーにそって寄り添う味。オープン当初から出しているレモンケーキ同様、お店の看板メニューとして愛されています。

「オープンしていちばん驚いたのは、近所のおじいちゃんおばあちゃんがつつうに来てくれたことです。とらやきを食べ、コーヒーも飲んで



3足の草鞋に多拠点生活を送る大日方さんの富士吉田ライフ。それぞれの仕事や暮らしから見えてくるものを、自然体でどの場所でも表現しているようです。そのバランス感覚に移住攻略の鍵がある!?



FUJIYOSHIDA 移住攻略 INTERVIEW



Profile — 大日方 菜津美さん

1988年、神奈川県生まれ。友人と共に畑を借り、首都圏で生活をしながら定期的に富士吉田に通い、2022年5月に富士吉田と東京での二拠点生活を開始し、朝ごはん屋〈sai Breakfast and Cafe〉もオープン。その他、グラフィックデザイナー、兼業農家としての顔も。



でいってくれる。もともと豆腐屋を知ってくれたり、どらやきを氣に入ってくれたり。新しいことを僕が初めて、近所の方々が応援してくれたことには、とても助けられました」

人の少ないエリアでのオープンの不安を他所に、梶原さんのお店は商店街になくはない場所として様々な人に受け入れられています。そんな中でも、梶原さんは常に自分やお店の進化を見据え、課題も多くあると言います。

「2回、3回とリピートしてお客さまに楽しんで足を運んでいただけるようなことを常に考えています。お店に来たお客さま同士の交流が生まれるようなこともしたいです。僕も今よりもっとお話したいです。このお店がコーヒー目的だったとしても、一息ついて気休まる場所になるように意識しています」

その心意気は、「ふう」と一息つ



ける場所になれるように、という意味の店名からも伺えます。

梶原さんは、奥さんとお子さんと3人暮らし。富士吉田に引っ越してくる時は「Uターン」とはいえ知らないことばかり。暮らしの部分では、『よしだの暮らしの相談室』に相談し、空き家バンクの制度を使って引っ越し家を見つけることができました。

「子育て面を考えても、保育園も多く密すぎないご近所付き合いができていて、程よくお互いが助け合う環境があるなと思います。なので不安に感じることはないですね。ただ、移住して子育てもしていると、同じ状況の人と保育園以外で知り合うことが少なく。そういったま



している人も知りたいとリクエストしていました。相談員から「HERBSLAND」さんを紹介され、彼らのつくるハーブティーに共感し、お店で扱うように。同じ年代のお子さんがいたこともあり、交流も生まれたそう。小さな繋がり、移住先では暮らしの中でとても重要になってきます。

また、お店をつくるための補助金も市や県の制度を利用して、安心してお店を始めることができたそう。梶原さんが20代前半に抱いた想いが地元で、そして実家の家業を営んでいた場所で実現するというのは、少し運命めいたものを感じています。長く続けていくことで、FUUTOがどのようなうちに根付いていくのか、これからも楽しみでなりません。

「お客さまに喜んでもらえるものを今後もまだまだつくっていきたい



場所、ヒト

ご近所の常連さま

お店を支えてくださる大切なお客様たち。みなさん、いつものという感じでハンドドリップコーヒーを飲むことが多く、喉越しの良いパンナコッタが人気です。みなさん出かけた先の思い出話をよくしています。

まちから見える風景

左は出勤時にお店の近くから見える富士山。雲もなく綺麗に見える、その日が良い1日になるような気がします。右の写真は生まれ育った月江寺商店街。なくなってしまったお店もあるけれど、昔の面影が今も残っています。



です。和菓子もどらやき以外にもつくりたいものがあるんです。今後も大事にしていきたいのは、提供するものやサービスを含め、お店に来てカフェを楽しんでもらって、帰る時には笑顔で来て良かった、また来たいと思える場所であらうようにすること。そのために勉強も技術の向上も人の育成も、やらなければならぬことはたくさんあります。まちや商店街を盛り上げることや、根を張って富士吉田の暮らしを楽しむことも大事にしていきたいですね」

FUUTO COFFEE AND BAKE SHOP

富士吉田市下吉田3-12-3
TEL: 0555-72-8380
営業時間: 11:00 ~ 17:00
定休日: 月、火



FUUTO
Instagram

お店も畑もデザインも。 循環させ耕していく

富士山駅から徒歩3分の焼鳥屋だった居抜き物件を紹介され、『sai Breakfast and Cafe』を開業した大日方菜津美さん。神奈川県出身で、もともとは東京でグラフィックデザイナーとして会社に勤務していましたが、「友人と農作業のために富士吉田に通ううちに、市内にも家を借り、気づくと店まで開業していた」と笑います。その間に結婚をし、現在は夫の居住地である三重県鳥羽市と富士吉田を行き来しながら、定期的に東京へも足を運ぶ多拠点生活を送っています。

富士吉田に通うようになったのは、新世界乾杯通りにある「イタリアンレストラン かぎしっぽ」を構える元地域おこし協力隊の高橋亮太さんがきっかけ。2019年に高橋さんの先輩と友人だった縁で誘われ、音楽イベントを手伝い、3人で畑を借りたことがはじまりでした。

「友人と私は東京から富士吉田に通っていたのですが、新型コロナウイルスが流行し、友人が関西に帰ることになってしまいました。一人で通い続けるうちに二拠点をしてみようと思い始めて。デザインの仕事は東京でなくてもできると常々思っていたんですよね」そうして、市が運営している暮らし体験施設「NERUTOO」に申し

込み、1カ月間の滞在を経て、さらに居住空間をシェアするサービスの富士吉田拠点を利用することに決めます。

「数ヶ月使いましたが、希望の日に泊まれなかったり道具も多かったりで、このまま二拠点は厳しいと思い、家を探し始めました。家探しにはとても苦労しました。西裏エリアは物件が少なかったし、農機具を置ける場所がほしかったので、広い庭がある物件が一戸建てで探したのですが、どこにもなくて。不動産会社やまちの人にも助けてもらいながら、なんとかいま住んでいる平屋の物件が見つかりました」

2022年に居を構え、富士吉田で暮らす時間が長くなったことで課題も見えてきました。当時から一人で畑を管理して農作物を道の駅などに卸していましたが、販売が難しい品がどうしても出てしまうことさらに、大日方さん自身が二拠点生活を始めた頃、駅周辺に早朝から開いている店がなく、バスや電車の待機場所に困ったこと。この2つの経験から、あることを思いつきました。

「まちの人と雑談する中で、朝ごはんを食べる場所がないよね、という話が出ました。私も同じことを感じていたし、野菜も売るほどある。だったら、その野菜を使う朝ごはん屋さんを開いたら全部の問題が解決するのでは、と思ったんです。外国人観光客が多いこともわかっていたので、日本食にしよう

と決めて。卵は富士山麓でつくると返したいという思いがあります。もし移住に悩んでいる人がいたら、ぜひ声をかけてください。移住で失敗した、となるのが減るように私が感じたメリット、デメリットをお話したいと思っています」

暮らす中での悩みとしては、冬が想像以上に寒かったこと。「お店の広い駐車場の雪かきも大変ですし、1年目に来たときはマイナス17度まで冷え込んで。標高が高

いから寒いということも移住するまで知りませんでした。家さえ暖かく快適であればパーフェクトですね」と打ち明けます。

デザイナーとして活動しながら、畑を耕し店を運営するという一見多忙に見える生活。しかし、すべて違う業種だからこそその利点が

あると話します。

「ずっと働いていて忙しいけれど、どれも違う仕事だからリフレッシュできます。べ切に追われながらデザイン仕事をした後に畑で農作業をすると、なんてのどかではないだろうと思って。飲食ではお客さんに話を聞きながら、インプットがたくさんできるのも面白い。そして、農作業は第一次産業で、店では畑で採れた野菜を使うので第二次産業の要素もあり、デザインと店の運営は第三次産業と考えているので、循環するように続けていけるのが楽しいです」

今後も大日方さんが店を耕していく様子を、まちの人が見守り続けていくでしょう。



sai Breakfast and Cafe

富士吉田市松山 2-3-37
TEL: 080-6280-6938
営業時間: 7:00 ~ 14:00 ごろ
不定休



sai
Instagram



季節ごとの県産素材を活かした小鉢と味噌汁、卵かけごはんが並ぶ〈ふじやまセット〉。ふわふわした雲のようなメレンゲの上に濃厚な黄身を自分で載せる、店の看板メニュー。

ている方がいるけど、魚は手に入れないことも想像できました。小鉢をいくつも用意するのは仕込みに手間がかかりますが、自宅で作るのはなかなか面倒ですね。考えを巡らせてパズルの組み合わせに至ります。地元で採れるものを実家で食べるような感覚で、観光客と地元の方の接点になるようなお店を目指したいと思いました」

飲食店経営は初めてでしたが、東京のバーで働いていた経験や、デザイナーのスキルを活かすことができたとも言います。

「職業柄、プロダクトをつくるに



佐藤農園さんご夫妻

富士吉田で畑を始めた当初から、相談に乗ってくださっている佐藤農園のご夫婦。毎年、種を買う前や栽培中に問題が発生した際は、畑にお邪魔して話を聞いてもらっています。一人で作業をしていると辛くなることもあります。が、「うちも同じだから大丈夫」「これが原因かも」と共感やアドバイスをいただけることが、精神的な支えになっています。



畑やお店を通して地域と人につながるコト



畑やお店、本業のデザインを通じて、六次産業を一人で完結できると考え、このスタイルを選びました。生産・加工・発信まで行うことで、地域との関わりが自然に生まれるのを実感しています。コミュニティも同じで、無理につながりをつくるのではなく、日々の活動や交流を通じて自然発生的なつながりが生まれるコトが大切だと考えて活動しています。



「富士山のフモトのまっちゃって
どんなところ？」そんな基本的なところ
から、しごとやエリア別のまちの雰囲気
など、暮らしでわかることまで、
楽しくやさしく相談員がおしえて
くれるフジ〜。

富士吉田への移住の相談はまずここへ!

スペース運営

FUJIHIMURO

<FUJIHIMURO>は市民の活動や交流の場となっ
ている複合施設。ギャラリーとワークスペースがあり、さ
まざまな展示やイベントが行われています。週末、ここ
に来ればまちの人に会えるかも?

Gallery Space

ギャラリー利用案内

絵画、写真、アート・ファッショ
ン等の展示や販売、音楽ライ
ブやワークショップ等の開催、
撮影スタジオなど、多目的に
利用いただけるスペースです。



ギャラリーとワークスペースをご利用希望の際は、電話や
問合せフォームからご利用目的と共にお問合せください。



Work Space

ワークスペース利用案内

個人・法人・グループ問
わず、多目的にコー
キングスペースとして、
セミナー・ワークショッ
プの会場としてご利用
いただけます。

●FUJIHIMURO (まちづくり拠点/事務局)
〒403-0009 山梨県富士吉田市富士見1-1-5 3F
平日9:00~17:00 (窓口定休日:土日祝)
Tel/Fax: 0555-73-9438
Mail: info@you-fujiyoshida.jp

●よしだの暮らしの相談室
〒403-0009 山梨県富士吉田市富士見1-1-5 1F
平日10:00-18:00 (窓口定休日:土日祝)
Tel: 0555-73-9445 Mobile: 080-4170-3776
Mail: info@you-fujiyoshida.jp



氷室どうよう市

毎月第3土曜日に開催している小さ
なマーケット。この地域のきれいな
空気や水で育てられたおいしい野
菜や、古道具、珈琲、雑貨などのワ
クワクする商品を取り扱う方々が出
店しています。移住した人と地元の
人との交流の場にもなっています。

「やりたいことができるまち」を
合言葉に、一人一人の
想いに寄り添う



ふじよしだ
定住促進センター

ふじよしだ定住促進センター

移住サポート

よしだの暮らしの相談室

<よしだの暮らしの相談室>は、富士吉田での暮らしを考え
ている方向けの相談窓口。住まい、仕事、風土や文化など、
このまちでの暮らしをよりイメージしやすいようご案内し
ています。まずは相談室に出向き、まちの情報をGETしよう!

業務内容

- ・移住相談(富士吉田での暮らし方について気になる
ことはなんでも聞いてください!)
- ・空き家・空き店舗バンクの運営
- ・よしだの暮らし体験施設の案内(P28で詳しく紹介!)
- ・移住後のコミュニティサポート(ごはん会やまちあるきツアーなど)

メディア運営

youFUJIYOSHIDA



“あなたと富士吉田を結ぶ”Webサイト
「youFUJIYOSHIDA」。富士吉田の移住情報
がありとあらゆる形でつまっています。まちの人
のコラムも充実。移住攻略のために、こまめに
チェックしてみて。



ふじよしだ定住促進センター
公式LINEも登録しよう!



新着情報などを定期配信するほか、コミュニ
ケーションツールとして相談員と連絡もとれるよ
うになっています。



吉田のうどん

吉田のうどんは富士吉田のソウルフードであり、日常食として地元の人がいちばん食べていると言っても過言ではありません。市内のいたるところにうどん屋がある富士吉田の日常。

吉田のうどんの歴史は明治初期に生まれたとされ、そのきっかけはこの地域の主要産業だった織物業と深く関係しています。その昔、手作業で織物を織っていた頃、お昼の食事の準備をするのは男性の役割になっていました。力のある男性が打つうどんは独特のこしを持ち、太くて硬さのある麺になりました。もう少し言い方を変えると、『モチモチ感があって腹持ちが良いうどん』。醤油&味噌ブレンド、キャベツ、肉は馬肉が定番です。現在、吉田のうどんのお店はまち周辺で約50店舗ほど。さらに、お店によってうどんは独自の進化を遂げています。お店ならではの辛味『すりだね』にも注目。地域の人々に愛されるソウルフードをぜひご賞味ください。



Yoshida no Udon
取材協力: 源氏



まちのいたるところから、富士山が見える暮らしだよ



暮らし体験



よしだの暮らし体験施設

移住を考えている方に向けて、富士吉田での暮らしを体験できる場所を用意しています。滞在しながらまちを歩いてみたり、人と話してみたり、気候や利便性をチェックしたりと、実際に移住をする前に暮らしを体験してみるのとはとても大切。新しい住まいや仕事を探す準備期間としても活用できます。

【シェアハウス】NERUTOCO

移住の相談窓口「よしだの暮らしの相談室」から直結する暮らし体験施設です。平日はスタッフが常駐しているので、気軽に暮らしの相談もできるのがポイント！

住所：富士吉田市富士見1-1-5 利用可能期間：1週間～1ヶ月
部屋数：和室1部屋、ドミトリ3部屋 定員：5名
利用料：和室 1週間20,000円、1ヶ月70,000円(最大2名)
ドミトリ1週間12,000円、1ヶ月40,000円(最大各1名)



【貸し切り】ハモニカ横丁本館

ハモニカのように長い6軒長屋の3軒分をリノベーションした趣きある施設。中長期滞在で富士吉田で暮らす準備をする方向けの暮らし体験施設です。

住所：富士吉田市下吉田3-6-62 利用可能期間：1ヶ月～(1ヶ月以上は応相談)
部屋数：個室2部屋 定員：4名
利用料：1ヶ月 夏季(5～10月)50,000円、冬季(11～4月)70,000円
駐車料：1ヶ月4,000円(1台のみ)



【貸し切り】リバーサイドルーム

FUJIIHIMURO敷地内の一角にある暮らし体験施設。近くには川が流れていたり、山の景色を眺めることができたり、自然と近い暮らしを体験できる施設です。

住所：富士吉田市富士見1-1-5 利用可能期間：1ヶ月～(1ヶ月以上は応相談)
部屋数：1部屋 定員：2名
利用料：1ヶ月 夏季(5～10月)50,000円、冬季(11～4月)70,000円



空き家・空き店舗バンク制度

移住・定住の促進を目的として、市内の空き物件の情報発信をする「空き家・空き店舗バンク」。このバンク物件を利用して移住した方もたくさん！住まいや店舗を探す際にはチェックしてみてください。バンク物件を活用することで交付対象になる奨励金もあります(各種要件あり)。



富士吉田市 空き家・空き店舗バンク



山田 絢子 ayako yamada

東京の企業でリモートワーク
1987年生まれ・埼玉県出身



推しの
場所!



四季がはっきりしているところ。夏は湖遊び、冬は雪遊びなど、子どもと一緒に自然の中で目一杯楽しめる。水がきれいで毎日飲むお水やお風呂の質もレベルアップ。子育てサポートも充実していると思います。

私的移住攻略ポイント!



移住する前に、お話しステイやショートトリップを通して、地元の人達と話し、生活のイメージをつけておくと思いいます。買い物の場所、子供の遊び場など。寒いのが苦手な人は、冬の寒さについても一度体験しておくのも良いと思います。

平野 真菜実 manami hirano

ブランド広報担当
1992年生まれ・神奈川県出身



推しの
場所!



たち親にとって自然がある環境がすごく心地がいい。市内なら、富士散策公園界隈などもおすすめ。

私的移住攻略ポイント!

わたしにとって同じ富士吉田で暮らしているひとは、都心部でいう同じ駅に暮らしているくらいのご近所さん感覚。食事や遊び、暮らしを共有できることの多い環境。だからこそオープンマインドで人との繋がりを楽しみたいところ。我が家はいつでもお友達のよりみち大歓迎。

高橋 亮太 ryouta takahashi

イタリアンレストランがざっば他、市内で3店舗を運営中
1989年生まれ・埼玉県出身



推しの
コト!



お水も空気もキレイで、地元の野菜が豊富なこと。富士山にちなんだ歴史のある文化が面白いし、田舎と言われながら、車で数分以内の場所に生活に必要な物が全て揃っているのも良いです。移住者への手当も充実しているので、ぜひこの地域に触れてもらいたいです。

夏の暑い時期に、農村公園の近くの畑でお店で使う野菜を植えたり収穫したり作業していて、夕方になって涼しくなった時の、夏の夕暮れの富士山が好きです。

推しの
場所!



推しの
場所!



昭和の時代の名残が色濃くのこるグルメ街「西裏」。人の価値観や感じ方にもよるけど、開拓されない感じの良さがわかる人が、この西裏を好きになる。西裏での思い出いっぱいあって、選びきれないくらい、そのくらいこの西裏を好きな人たちにとって濃い場所だと思う。西裏のいいところは、チェーン店がないのもまた素晴らしいね。

広瀬 英一朗 eiichiro hirose

有限会社 広瀬商店 代表取締役
1964年生まれ・富士吉田市出身



08

小野田 ゆず yuzu onoda

高校生／かえる組
2007年生まれ・富士吉田市出身



推しの
ヒト!



かえる舎・かえる組のみんな! 富士吉田愛いっぱいの人たちが集まっていて、富士吉田のことをいろいろ知ってる!

推しの
場所!



富士急ハイランドにお散歩に行けるのは嬉しいです。あと、うどん屋がいっぱいあるのでうどん好きにおすすめなまち。お気に入りのうどん屋さんを見つけるのも楽しみのひとつ。

推しの
コト!



人が優しいこと! まちをあるいていると知らない子供達が元気に挨拶してくれます。スーパーやコンビニの定員さんも、何気なく優しく話してくれます。移住者同士の交流も多く、月に一回山に登る登山部があります。人と人が繋がりがやすいのが嬉しいです。

推しの
ヒト!

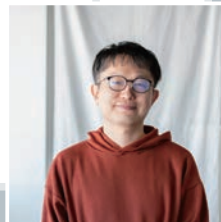


ダンス教室のこずえ先生です。ダンスを習いに行っているのですが、それ以外も面倒をみてもらっています。おすすめのお店を紹介してくれたり、火祭りなどのイベントにも一緒に行こうと誘ってくださり、富士吉田の文化を教えてくださいたいです。

齊藤 大介 daisuke saito

17エンジニア 1985年生まれ 千葉県出身

04



住んで気づいた私的移住攻略&好きな場所・コト・ヒト

わたしの推し 吉田

小林 真子 maco kobayashi

合同会社OULO / イベント企画・シテプロモーション支援
1999年生まれ・甲斐市出身



推しの
場所!



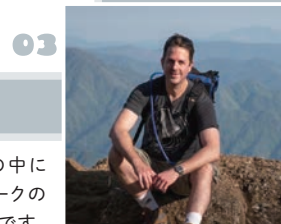
富士吉田で特に推しなカフェ、M-2・手利亜・FUUTOの3つです! お料理やお菓子のおいしさはもちろんですが、一人でも行けるというか、店主の方がいつも優しく迎えてくれる感じがして、すごく好きで、わたしの推しです!

私的移住攻略ポイント!

ずばり、このまちに対する愛! "ひとりで移り住む" こととはとても大きな決断。でも、富士吉田の人・文化・空気が大好きで、その気持ちがあったからここで生活できる気がしたし、移り住みたいと思えました。自分なりの富士吉田愛がベースにあるかどうかは、住み続けるために個人的に重要なことかなあとと思います。

スミス アンドリュー Smith Andrew

富士吉田市役所国際担当。
1979年生まれ・アメリカコロラド州出身



推しの
場所!



恩賜林庭園の中にあるバイクパークのパンプトラックです。世界クラスのパンプトラックで、日本にもいくつかしかないパークです。アウトドアが好きな人がいっぱい集まる場所です。市民割引も。

自然も美味しい飲食店もいっぱいあり、富士山が日本一で、外国人も沢山遊びに来ること! 暮らしやすいまちですし、これからもっとアクティブで面白くなると思います。



推しの
コト!



EVENT CALENDAR

2月 13・14日 愛染厄除地蔵尊例大祭

地域に春を告げるお祭り。24時間だけ愛染厄除地蔵尊の耳が開き、願いを聞いてくれると言われています。年の数分のお団子をお供えて厄払いをしましょう!



7月 18日 富士山山開き

富士山吉田口登山道の起点である北口本宮富士浅間神社で神事が行われ、富士山への感謝や開山のご奉告がされます。富士登山者や登山道関係者の安全を祈る大事なお祭りです。



7月 下旬 富士登山競走

富士吉田市役所から富士山山頂まで一気に駆け上がる、日本一の山岳レース。「市民ランナーグランドスラム」の一つにも数えられています。市民出場枠もあるので、チャレンジしてみたい!

9月 18・19日 流鏝馬祭り

平安時代末から続く由緒ある神事で、馬が走った後のひづめの跡を見て災厄を占うことが特徴。馬に乗った射手が次々と的を射ていく姿は圧巻です!ぜひ、近い場所で見てください!



10月 中旬 ハタオリマチフェスティバル

富士吉田は千年以上続く織物の産地。織物製品やフードのマーケット、音楽会など様々なコンテンツで賑わう秋祭り。下吉田の様々なエリアで開催されるので、まち歩きをしながら「ハタフェス」を楽しんで。



11月下旬 12月上旬 FUJI TEXTILE WEEK

国内唯一の布の芸術祭! まちのあちこちにアートが出現します。歩きながら、富士吉田の織物×芸術×まちの風景の融合を楽しもう。(隔年開催)



富士吉田には1年を通してイベントがたくさん!富士山の歴史を感じるものから、賑やかな楽しいお祭りまで、いろいろ参加してみるのも移住攻略のポイント!

4月 月上旬 新倉山浅間公園桜まつり

日本を代表する富士山ビュースポットで開催される桜まつり。約650本の桜が咲き誇ると、桜・富士山・五重塔という「THE JAPAN」な風景が見られます!



6月 30日 富士山開山前夜祭

パレードのあと、北口本宮富士浅間神社で神事が開かれます。特にお道開きの神事は必見!登山道入口の鳥居のしめ縄が勢いよく断ち切られると、富士山の開山が告げられ、富士吉田の夏が始まります。

4月 29日 吉田胎内祭

世界遺産の構成資産・吉田胎内樹型が唯一公開される日。神事やお焚き上げの儀式が執り行われ、古くから続く富士山信仰の姿を間近で見ることができます。

7月 下旬 市民夏祭り

市民の、市民による、市民のための夏まつり。まちの中心地が歩行者天国となり、ステージショーやパレードなどたくさんのイベントが開催されます。子どもからお年寄りまでみんなが楽しめるお祭りです。

8月 26・27日 吉田の火祭り・すすき祭り

吉田の火祭りは、富士山の鎮火祭で、日本三奇祭にも数えられる富士吉田を代表するお祭り。26日、2基の神輿が練り歩き、「御旅所」に奉安されると、100本以上の大松明が点火されます。富士山の麓が火に照らされる様子は壮観!翌日、浅間神社に戻った神輿の後を「すすきの玉串」を持った氏子と参詣者が高天原をグルグルと回ると、祭りは最高潮へ。富士山の山じまいを告げるお祭りです。



12月 月上旬 ハタオリマチのクリスマス

ハタオリマチならではのクリスマスマーケット。プレゼントにぴったりなアイテムやおいしいフードが集まり、大人子どもも楽しめるワークショップも人気です!

FUJIYOSHIDA 移住攻略 SUPPORT

富士吉田のさまざまなサポートを紹介!

子どものこと・子育ての相談をしたい!

富士吉田市役所 子育て支援課・こども家庭センター

自然いっぱいの富士山のふもとで、子どもたちが明るく健康的に成長できるまちをめざして、妊娠中から子どもが成長するまで切れ目ない支援を行っています!拠点となる子育て支援センターは、子育てに関する相談や保護者の方同士の交流ができる場所です。ぜひお気軽にお越しください!

⑨富士吉田市下吉田7-29-19

子育て支援課 TEL: 0555-22-1055
こども家庭センター TEL: 0555-22-5155

子育てサービスガイド



子育てLINE



移住定住の補助金について聞きたい!

富士吉田市役所 ふるさと魅力推進課

新婚・物件取得・空き家バンク活用等に関する「定住促進奨励金」や、東京23区内に在住・通勤していた方を対象にした「移住支援金」など、移住・定住のサポートとしての各種補助金についてご案内します!



⑨富士吉田下吉田2-31-4
真田ビル2階
市役所北別館
TEL: 0555-22-1111
(内線 296)

各種案内はこちら



富士吉田で住まいを探したい!

富士吉田宅建協会の

市内の不動産事業者10社による富士吉田市宅建協会が富士吉田市内での家探しをサポートします!賃貸・売買、住居・店舗など、ご要望・ご予算に合わせた住まいをご提供します。



不動産協会の



富士吉田で仕事を探して働きたい!

ハローワーク富士吉田

ハローワーク富士吉田では、富士吉田市内または市内に居住しながら就業できる近隣の求人情報の紹介や職業相談を受け付けています。移住に伴う転職をお考えの方は、お気軽にお問い合わせください。



⑨富士吉田市電ケ丘2-4-3
TEL: 0555-23-8609

ウェブサイトはこちら



富士吉田で起業したい!

富士吉田商工会議所

創業・起業したい方を全力でサポートします!長年培った実績やノウハウをもとに、創業計画から資金調達、開業手続きなど、補助金のご案内まで、きめ細かく支援します。一度ご相談ください!



⑨富士吉田市下吉田7-27-29
TEL: 0555-24-7111

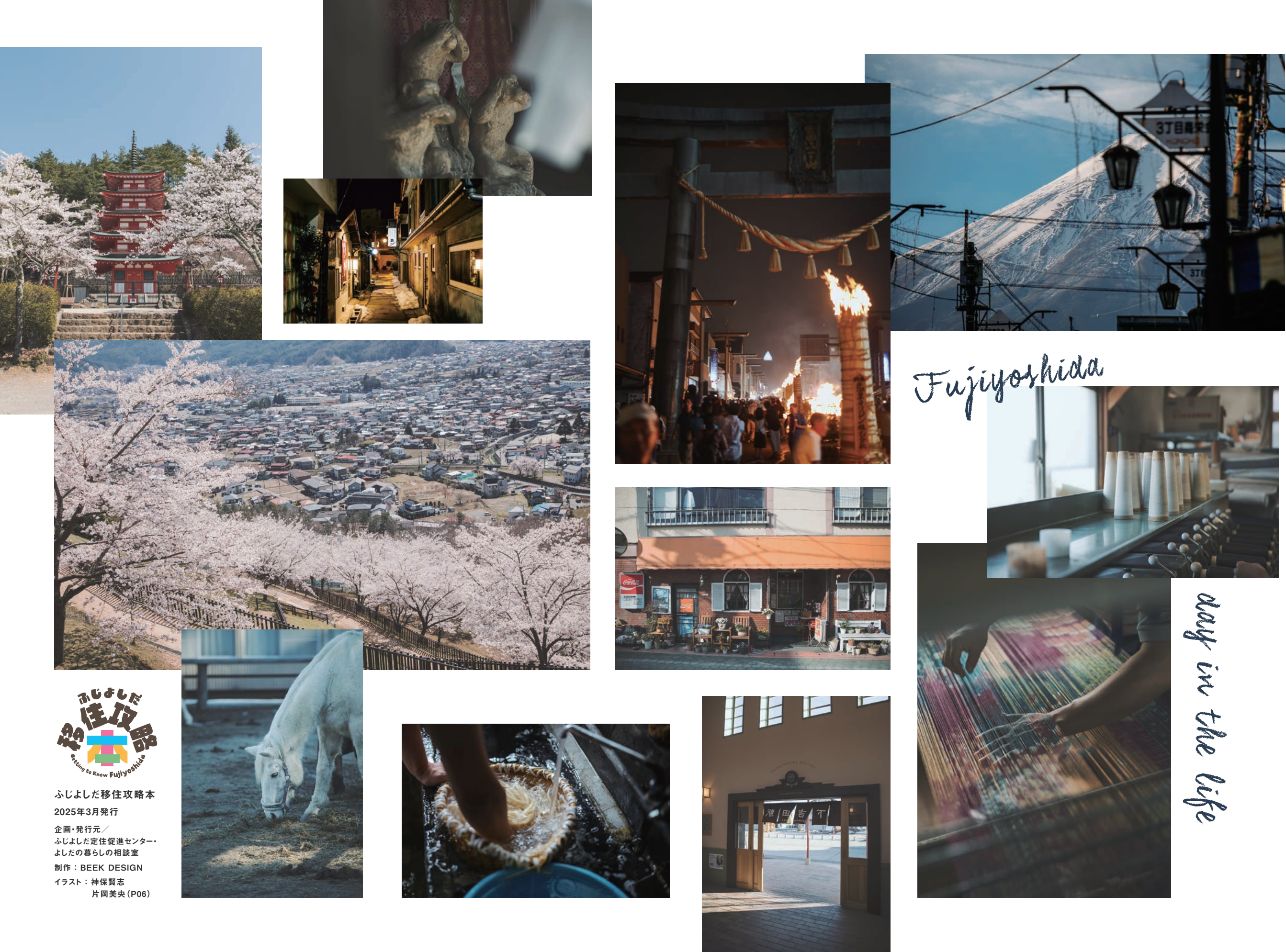
ウェブサイトはこちら



子育て

住む

働く



ふじよしだ移住攻略本

2025年3月発行

企画・発行元／
ふじよしだ定住促進センター・
よしだの暮らしの相談室

制作：BEEK DESIGN

イラスト：神保賢志
片岡美央 (P06)



ふじよしだ定住促進センター・
よしだの暮らしの相談室

〒 403-0009
山梨県富士吉田市富士見 1-1-5
Tel : 080-4170-3776
Mail : info@you-fujiyoshida.jp

移住の際に役立つ情報が満載！

youFUJIYOSHIDA

you FUJI
YOSHIDA
あなたと富士吉田を結ぶ



富士吉田の日常や市内のイベントの発信

公式 SNS アカウント

